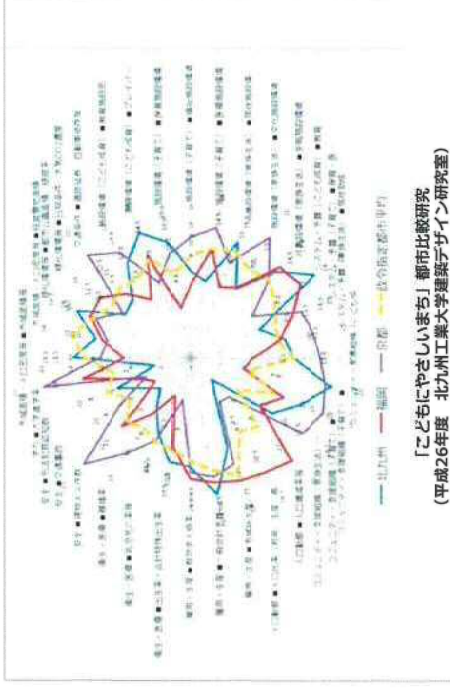


■ 計画概要

A-1 北九州子どもはつらつ元気館

高齢化、人口減少が著しい北九州市の都市間定住競争で、もっとも重要なことは次世代育成に他ならない。本施設は未来を担う子どもたちのための遊びと学びの機能を持つ。すでにある、「北九州子育てふれあいプラザ（小倉）」、「北九州市子どもの館（黒崎）」等と差別化し、ども・学童・青少年から若者など、より多年齢を対象とし、隣接する市立病院の小児医療との連携を重視した総合的な拠点施設とする。本施設と他のども施設との差異としては、①大空間、②どもたちがわくわくするダイナミズムがある、③北九州市の都市政策としての『子どもにやさしいまち』のシンボル、④多年齢のどもが一緒に遊び、学べる等があげられる。

また、あそび環境という点では、2017年末で閉園が決まった「スペースワールド」が地域に提供していたどもたちや子育て世代のための自由遊びの機能を補完する意味でも、重要な施設となる。



【あそび】

- ・思い切りあそべる環境の提供
- ・心身活性化
- ・大空間
- ・冒険あそび場・自然あそび場
- ・中高生の居場所の提供

【連携】

- ・「新北九州市立病院」小児科等との連携
- ・近隣幼児施設（同附属幼稚園も含む、幼稚園、保育園、学童保育、小学校等）との連携（運動会・学芸会の場の提供・貸出）
- ・大手教育機関（ベネッセ、クモン等）との連携（講習会、会場貸出等）
- ・どもも用絵本・書籍との連携（ツタヤ等）
- ・「新八幡図書館」
- ・「北九州子育てふれあいプラザ（小倉）」
- ・「北九州市子どもの館（黒崎）」



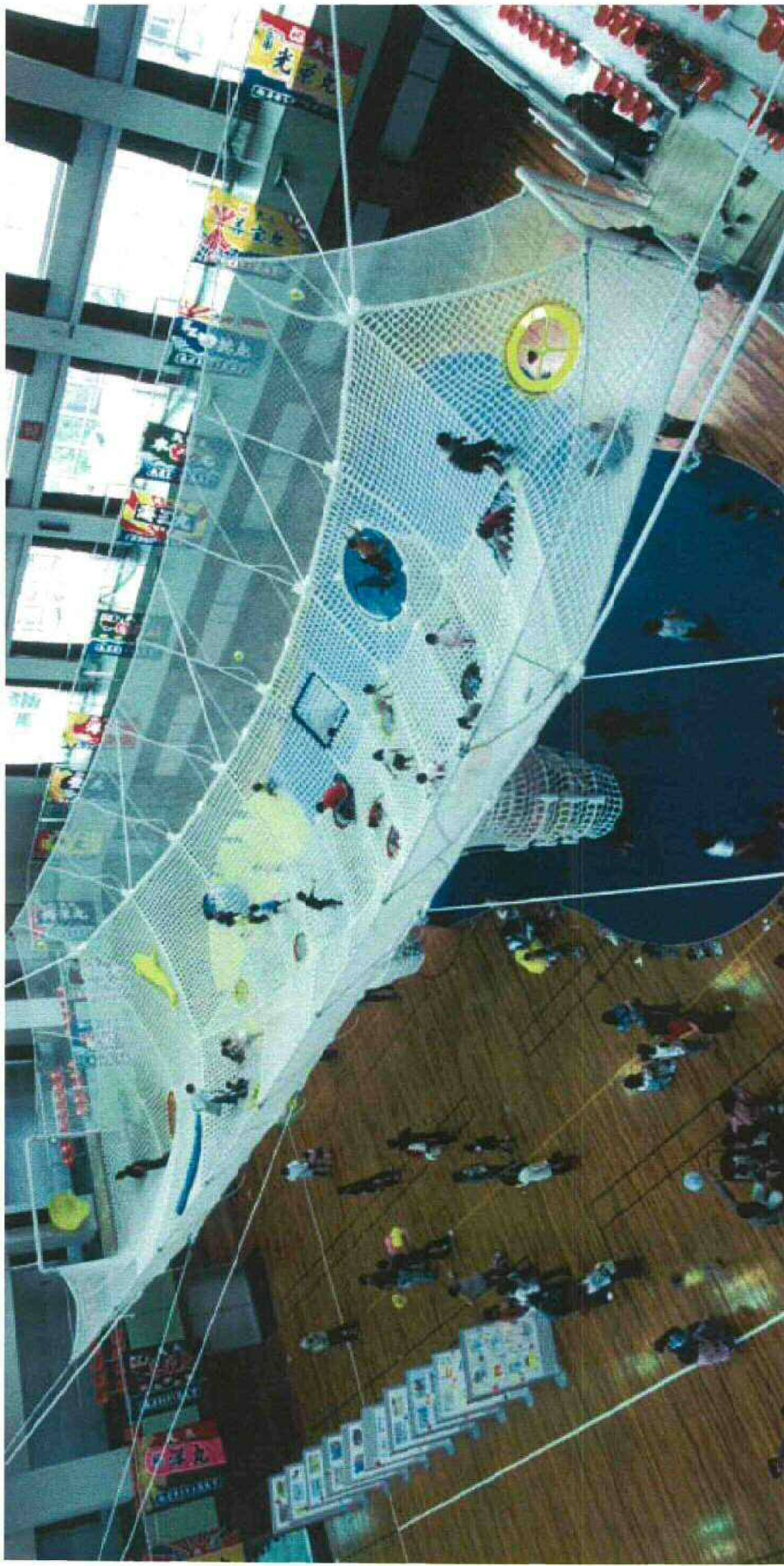
【学び】

- ・ものづくりに関する体験学習
- ・キャリア体験学習（キッズニア九州等）
- ・自然から学ぶ、木育の場
- ・絵本や童話のどもも図書館
- ・教育人材育成
- ・環境学習・ビオトープ

【交流】

- ・どもも祇園山笠祭
- ・どもも劇場
- ・どもも会議
- ・どもものまち、ミニ北九州

A-2 北九州どもはつらつ元気館 ■プレイホール ネット遊具、ボールプール、緑の丘、こどもEV、プレイコロドール等 参考イメージ



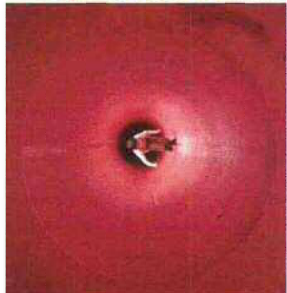
大型ネット遊具 (氷見市いきいき元気館)



緑の丘：グリーンウォーク&ヒルサイドテラス (JIAE幹学生WS 小倉AIM改修計画)



プレイコロドール (プレイトンネルとネット遊具・高山こどもいらい館)



こどもEV (いわき市こども元気センター)



こどもEV (高山こどもいらい館)

